

デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生テレワークタイプ）／地方創生テレワーク交付金
 施設整備・利用促進事業 事業実施報告書

資料 4

記入日	2024年6月18日					回答漏れチェック			
都道府県名	福島県	市区町村等名	会津美里町	地方公共団体コード	07447	推進体制	回答済	利用者獲得	回答済
戦略的運営	回答済	評価・改善	回答済						
担当部局名	政策財政課			責任者名		責任者役職			
担当者名		電話番号		メールアドレス					
事業タイプ	標準	単独・広域連携	単独	事業年度	令和3年度補正デジタル田園都市国家構想推進交付金(地方創生テレワークタイプ)				
交付対象事業の名称									
会津美里町地方創生テレワーク推進事業									

1. 事業最終年度末及び2023年度末のKPI（申請時に設定した数値：薄青セル）、2023年度末時点でのKPIの進捗状況（実績：薄緑セル）を記入してください。また、KPIを達成した場合は「達成のための取組内容や工夫」を、KPIが未達成の場合は「未達成理由と達成に向けた取組内容」を記入してください。

記入例		最終年度末	2023年度末	2023年度末	KPI達成の場合、達成のための取組内容や工夫を記入 KPI未達成の場合、未達成理由と達成に向けた取組内容を記入
内訳	KPI① サテライトオフィス等施設を利用する企業数（社・団体）				
	施設A	7	3	5	(KPI達成の場合、達成のための取組内容や工夫を記載) 庁内関連部署のネットワークを活用したプロモーション活動が功を成し、モニターツアーの参加企業からの利用申し込みが増加した。ツアーでは入居後のイメージが持てるよう、既存の利用企業との交流会を設けることや、地元企業等との協働事業の事例等を紹介できるように工夫した。
					(KPI未達成の場合、未達成理由と達成に向けた取組内容を記載) 庁外関係者のネットワークを活かしきれず、プロモーション活動を十分に行えなかったのがKPI未達の理由である。今後は庁内外の関係者が持つネットワークを正確に把握したうえでプロモーション戦略を立てる方針である。
	合計	7	3	5	

KPI① サテライトオフィス等施設を利用する企業数（社・団体）		最終年度末	2023年度末	2023年度末	KPI達成の場合、達成のための取組内容や工夫を記入 KPI未達成の場合、未達成理由と達成に向けた取組内容を記入
内訳	FDS本郷	6	4	4	キーパーソンのネットワークを活かして利用企業の誘致に取り組んだ。
	合計	6	4	4	

KPI② サテライトオフィス等施設を利用する企業における、所在都道府県外の企業数（社・団体）		最終年度末	2023年度末	2023年度末	KPI達成の場合、達成のための取組内容や工夫を記入 KPI未達成の場合、未達成理由と達成に向けた取組内容を記入
内訳	FDS本郷	5	3	0	企業名を背負ってサテライトオフィス施設を利用するにあたり、大企業ほど内部決済のハードルが高いため、企業ではなく、個人として登録していただいた。結果、カウントできる県外の利用企業数はゼロであった。
	合計	5	3	0	

KPI③ サテライトオフィス等施設の利用者数（人）		最終年度末	2023年度末	2023年度末	KPI達成の場合、達成のための取組内容や工夫を記入 KPI未達成の場合、未達成理由と達成に向けた取組内容を記入
内訳	FDS本郷	7500	5000	1004	不特定多数の利用者の受け入れに対応することができず、質を求めている対応となつた。
	合計	7500	5000	1004	

KPI④		最終 年度末	2023 年度末	2023 年度末	KPI達成の場合、達成のための取組内容や工夫を記入 KPI未達成の場合、未達成理由と達成に向けた取組内容を記入
内訳	FDS本郷	33	30	4	KPI②の理由にも共通する内容もあり、県外企業の利用数が増えるよう企業の理解を深める取り組みを行っていく。
合計		33.00	30.00	4.00	

KPI⑤		最終 年度末	2023 年度末	2023 年度末	KPI達成の場合、達成のための取組内容や工夫を記入 KPI未達成の場合、未達成理由と達成に向けた取組内容を記入
KPI⑤ 移住者数（人）		4	2	0	移住者までは至っておらず、利用者にとどまっている。1年目であったため、移住者に対して力を入れることができなかった。次年度、町と民間企業で連携して移住へつなぐ取り組みを行っていく。
KPI⑤移住者数の目標値の考え方 ※実施計画策定時に設定した目標値の考え方をプルダウンから選択すること		本事業のみで増加を図る移住者数として設定			
KPI⑤移住者数の目標値の考え方で 「その他」を回答した場合、その考え方を記載すること					
(KPI⑤参考) 住民基本台帳人口（人） ※実施計画に記載した数値を入力すること。		19358			

2. 進出企業の概要と経緯

進出企業の名称	-		
上記のうち、評価対象年度内で 新たに進出した企業			
進出企業の 本社所在地			
進出企業の業種			
進出の経緯			

※2024年3月末時点での実績値として記載してください。

※本欄に記載する進出企業は所在地が都道府県外企業とし、上記1. KPIの進捗状況のKPI②の実績値と整合する記載にしてください。

3. 推進主体（現時点での状況を記載）

5-1. 事業推進主体の名称

一般社団法人FDS（Forest Design Solution）

5-2. 構成メンバー

例：【庁内】①〇〇市観光課、②〇〇市商工課、③〇〇市地域振興課
【庁外】④(株)〇〇、⑤(株)△△、⑥□□(株)、⑦〇〇商工会議所

有限会社会津管財、machi dock(株)、会津中央測量株式会社、Forest Design株式会社、住友林業株式会社、戸田建設株式会社、物林株式会社、株式会社会津美里振興公社、株式会社Ymix、株式会社ストローブ

※メンバーについては、庁内、庁外問わず記載してください。

5-3. それぞれのメンバーの事業推進における役割

例： ①各施設を継続的・安定的に運営するために、④と連携した施設管理及びプロモーション活動等を実施。
②施設利用者及び企業等が定着しやすいように、商工・観光関係団体等も交えた一体的な支援を実施するとともに、市内進出企業の推進等を行う。
③進出検討企業や移住希望者に対して施設をPR。豊かな自然環境や食文化等の魅力をパッケージとして発信して利用促進を図り、移住者の増加に取り組む。
④施設の管理運営。稼働率を向上させるためのPR等を積極的に行なう。⑤⑥⑦と連携した地元企業や地域住民との交流イベント等を実施。
⑤⑥進出企業。④⑦と連携した地元企業や地域住民との交流イベント等を実施。
⑦地元企業の情報を提供。④⑤⑥と連携した交流イベント等を実施するなど、進出企業と地元企業のマッチングを支援。

会津中央測量設計(株)と住友林業(株)は、様々な森林データや情報の管理。物林(株)は、関係する人的ネットワークやDXを活用したサプライチェーンの構築や合理化。machi dock(株)と戸田建設(株)は、新しい需要や新しいデザインを活かしたモノづくり。(株)会津管財と(株)会津美里振興公社は、地域課題を地域資源化や森林文化などの魅力に変えて情報を発信。Forest Design(株)は、農林地の管理及び苗木生産。

※庁内、庁外問わず、それぞれのメンバーが本事業において担う役割を具体的に記載してください。